

令和6年第7回大竹市教育委員会

- 1 開催日時 令和6年7月26日（金）9時30分開始
- 2 会場 大竹市役所5階第1委員会室
- 3 出席及び欠席委員
- | | | |
|-----|------|----|
| 教育長 | 小西啓二 | 出席 |
| 1番 | 池田良枝 | 出席 |
| 2番 | 中田美穂 | 出席 |
| 3番 | 小城和之 | 出席 |
| 4番 | 市川洋 | 出席 |
- 4 出席職員
- | | |
|--------|------|
| 総務学事課長 | 大井一徳 |
| 総務学事課 | 重安千陽 |
| | 横峰路子 |
| | 丸茂宣潔 |
| | 岡村篤子 |
| | 大庭史善 |
| 生涯学習課長 | 川村恭彦 |
| 生涯学習課 | 新畑房恵 |
| | 武田宜裕 |

.....
【開会時刻 9時30分】

小西教育長 定足数に達していますので、これより令和6年第7回大竹市教育委員会会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を指名します。議事録署名委員は、大竹市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、市川委員を指名します。

これより本日の日程に入ります。日程第1「会期の決定について」を議題とします。今期定例会の会期を、本日7月26日一日限りとします。これに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決定しました。

協議・報告事項 玖波地域交流施設整備事業について

小西教育長 日程第2「協議・報告事項 玖波地域交流施設整備事業について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 令和5年度から1年かけて地域住民の皆様からいただいた意見をもとに、新施設の機能や規模、配置等を「玖波交流施設基本構想・基本計画」としてまとめました。本日はこの基本構想・基本計画をもとにした新施設の平面プランの案及び新施設完成までのスケジュールの案について説明させていただきます。

まず、平面プランの案ですが、こちらは基本構想・基本計画をもとに、緊急の際に国道2号側に避難しやすい現在の公民館駐車場側に移転建て替えを行うということをベースに作成したものとなっています。面積や部屋・スペースの配置、その他細部につきましては今後変更が生じることがありますのであらかじめご了承ください。まず1階部分に、ロビーフリースペース、会議室、調理室、事務室などを配置しています。2階にホールと和室、またロビーフリースペースなどを配置しております。3階には倉庫、空調機械室などを配置しています。正面玄関を1階の東側に配置し、1階のロビーフリースペースは、正面玄関からの繋がりや1階部分の見通しの良さ、開放感、各部屋との一体感などを確保し、用途やニーズに応じて様々な活用ができるようにするために横長に配置しています。また会議室・調理室ですが、可動式の間仕切りを採用し、会議室1・2を一つの空間にしたり、さらにロビー兼フリースペースと一体的な空間にしたりと、柔軟な活用ができるようにしています。2階のホールは現在公民館を使用している団体の活動やイベントなどでの利用が継続できるよう、現在の公民館のホールとほぼ同規模の面積を確保しています。またステージは、現在のステージよりも若干奥行きや間口を広くとっています。このステージの下には、イベントなどで使用する椅子やシート類を収納できるようにしたいと考えています。ホールの高さは最高部が9.5m、両端の最低部が6.8mとなっており、現在の活動などに支障がない高さを確保しています。2階のロビー兼フリースペースですが、イベント開催時のほか、通常時も様々な活用ができるような広さを確保しています。このように、1階と2階に十分な広さのフリースペースを設けることで、基本構想・基本計画でも示しているカフェスペースや図書コーナー、キッズスペースなどを配置できるようにするとともに、コミュニティサロン玖波の機能も確保できるようにしたいと考えています。ちなみに2階の「吹き抜け」部分は、1階と2階の一体感の確保や1階から2階の様子が伝わるよう設けていますが、他のスペースとして利用できるよう、議会や住民の皆様からもご意見をいただいておりますので、検討したいと考えています。正面玄関付近には、多目的駐車場や送迎・搬入のために一時的に駐車できるスペースを確保しています。特に多目的駐車場は、この案では2階・3階フロアの下に位置しており、雨天時にも対応しやすい配置としています。建物の延床面積は1,351.9㎡で、基本構想・基本計画で示した約1,330㎡から若干増えていますが、今後変更が生じることがあります。補足として、現在の公民館建物との間の道路に、新たに整備する駐車場から新しい建物に横断する際の安全対策として、横断歩道を設けられるよう、警察と協議していきたいと考えています。また、施設の北側の敷地の一部を敷地内通路として、歩道代わりに通行できるように整備することも検討していきたいと考えています。続いて新施設完成までの整備スケジュールの案です。(1)から(4)までありますので上から順に説明します。まず、(1)新たに整備する地域交流施設について、現在進めている施設的设计業務は、令和7年7月までに完了予定です。工事は、令和7年10月から令和8年12月までを予定し、令和9年1月から

3月にかけて開館準備を行う予定です。また、新たな駐車場の整備工事は、令和8年10月から12月までを予定しています。(2)既存の施設、すなわち玖波公民館、玖波消防屯所、また消防屯所に併設されている水防倉庫についてですが、こちらの解体設計業務は、令和7年11月までに完了する予定です。解体工事は、まず玖波消防屯所・水防倉庫の解体及び、土地の更地化は、令和7年6月から8月までを予定しています。これに伴い、解体工事の始まる令和7年6月から現在の公民館駐車場は使用できなくなりますので代替りの駐車場を確保できるかどうかを現在検討中です。玖波公民館の解体工事は、令和8年6月から9月までを予定しています。これに伴い令和8年6月から開館準備が完了する令和9年3月まで、約10ヶ月間玖波公民館の休館が発生する見込みです。当初から、令和6年度から8年度までの3年間で完了するスケジュールで事業を進めてまいりましたが、基本構想・基本計画をもとに完成までのスケジュールを整理した結果、一定期間の休館がやむを得ない状況となっています。休館の間、公民館の利用団体、住民の皆様にご迷惑をおかけしますが、代替りの場所の確保などについて、住民の皆様などのご意見・ご要望を伺いながら検討していきたいと考えています。(3)敷地支障物ですが、現在、公民館駐車場の敷地内にあるゴミステーションやストーンアート、看板類などの移設・撤去を、関係する市の部署や団体などと協議しながら、令和7年5月までには完了したいと考えています。(4)新玖波消防屯所等については、現在の消防屯所と水防倉庫を、公民館の敷地内ではなく、玖波地区の他の場所に移転新築する方向性としており、現在の案としては、玖波小学校の下、JR山陽本線沿いにある市有地への移転新築が有力で、今年度に設計、来年度に工事というスケジュールで進める予定としています。説明は以上となりますが、公民館の休館については、住民の皆様にもいろいろとご意見をいただきながら、できる限り現在の活動やイベントが停滞しないように対応していきたいと考えています。

小西教育長 これより質疑に入ります。質疑はありますか。

市川委員 平面図を見ていて、すごく素敵な施設になっていくのかなと予想しています。玖波地域の実態を見ますと、実際に学校地域住民、そして公民館、コミュニティサロンなどがすごく一体化していて積極的な取り組みが図られているなど思っています。そしてそのためのノウハウもすごく持っておられて、この施設を統合集約することにより、より玖波の地域が生涯教育の推進モデルとなっていくのではないかと大いに期待しているところです。それと2点目ですが、玖波地域のみでなく老朽化していく施設が将来どうなっていくのかと思っていますが、栄公民館の組織の再編も考えていったら良いのではないかと思います。栄公民館だけでもないと思いますが、組織として、現行の生涯学習課長が公民館長を兼務し点検するというのではなく、公民館の中に職員を1人公民館長という形で置いた方が、その人が自覚と責任を持って運営を図っていくということで、すごく充実したものになるのではないかと思います。その辺りを将来的に検討していったら良いなと思います。大変素晴らしいです。設計を見ながら羨ましいなと思っています。

事務局 組織等の見直しをするタイミング、また施設を更新していくタイミングがいずれ来ると思います。その際には今のご意見を改めて検討させていただくことになろうかと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。

小西教育長 施設は非常に老朽化しているので今後、将来に渡ってそのあたり計画として上がってくるのではないかという、今はそれぐらいしかお答えできませんが、大いに参考にして参りたいと思えます。

池田委員 2点ほどあります。1点目はトイレのことです。1階には多目的トイレと銘打ってありますが、2階はトイレが二つだけになっていて、多目的という文言もないし、これが男女別のトイレとすると多目的のトイレがないのかというのを心配しています。もう1点は、先ほどロビーやフリースペースの活用としてカフェやキッズコーナーをと言われていましたが、今、アゼリアホールにカフェが作られていて、先日、私も活用させてもらったのですが、すごく良いスペースだと思えました。もしそういうものを作るのであれば、そういう施設や道具等が、きちんとされていないと、いざカフェを作りますと言っても椅子と机があるので済むのかなと思危惧しています。すでにそのような案があれば、そのための準備というのをこの施設の中にしておかなければ後からというまた費用もかかってくるのかなと思うので、そのあたりをきちんとしてもらったらいいかと思えます。もう一つは、支所業務等の仮移転と書いてありますが、支所としての業務活動というのはこの休館中、どのような形で行われるのか今の段階で分かっていたら教えてください。

事務局 まず多目的トイレが2階にないという件ですが、先日の議員全員協議会でも同様に、議員の方からご意見をいただきました。本日夕方の地元説明会でもおそらく同様の意見が上がってくるのではないかと思えます。そういったご意見をもとに、この図面の変更という話になると考えています。2点目のカフェコーナーについてですが、アゼリアおおたけではH&Cさんがカフェを運営されています。事業展開的には、なかなか難しいという話はお聞きします。周辺人口であったり、利用客がどの程度毎日おられるか。その辺で、民間が入ってくるのはなかなか難しいかと思っています。また、障害者就労支援の関係で、社会福祉協議会にどうでしょうかという話をしてみましましたところ、現在1ヶ所で作っており、人材不足というのもあるし、もう一つというのはなかなか難しいとのことでした。そのような状況で施設を整備した後、穴が空いたときには大変かなと思えます。実際には、これから地域交流施設でどういう事業を展開するかにもなりますが、調理室とフリースペースを一体活用して、実際にはそこでお茶も飲めたり、何らかの飲食ができるという形でやっていくことになるのかなと思っています。また、最近は自動販売機でも結構物が良く、本当にドロップしたコーヒーが出るというのもあります。そのような安価なものでお茶を飲んでいただくのも良いかと思っています。焼き芋やうどんの自販機も再度クローズアップされていますので、自動化という話になってくるのかと思っています。3点目の支所業務についてですが、施設解体工事中は、コミュニティサロン玖波が難しければ別の場所を検討すると聞いています。

中田委員 先ほどおっしゃられていた敷地内通路があると思いますが、図面で言えば建物の上側、前面道路が6 mぐらいの幅がありますが、そこで敷地内通路を、もし小学生等が登下校のときに使えたら、スペースが広がるので良いのではないかと思います。ここがフラットに設計されているのかどうかは分かりませんが、朝、私が通勤のときに小学生がとても狭いところを通過して、しかも信号待ちの時、かなり歩道が狭いです。結構スピードを出して車が通ったりするので登下校のときに、何らかの広めのスペースで信号待ちができれば、安心なのではないかと思います。

事務局 敷地内通路につきまして、現状の市道については、完全に歩車分離されていないので、ここの部分だけでもちょっとした歩道代わりに使えるというのは、国道のすぐそばでもあり、信号待ちにしても若干待機するスペースになるのかなと期待しています。でも渡った後も狭いところがずっと続きますし、バスも通ったりするので、そこはなかなか難しい地域ではあります。今回整備する中で少しでも良くできればという思いはあります。

小城委員 一昨年ぐらいからこの地域交流施設の説明が玖波でもあったと思いますが、その中でいろいろと住民の方々の意見を結構組み入れたプランかなと思います。私は、その要望をただ単に詰め込んでいるだけだと感じます。この平面だけではまだまだ計画段階なので分かりかねるところもありますが、ぱっと見て、面白みがないといいますか、ただ要望通りにやっていますというところが見受けられます。まだまだ今から設計を期待したいなというところはあります。それと、1階の方に柱がいっぱいあるのもトイレの前の入口のところの前や倉庫の前、出入口の前に柱が来るといっても入るときは、広いところから狭いところに入るのは良いのですが、狭いところから広いところに出るときに、こういった柱みたいなのがあると圧迫感を感じたりしますので、その辺の配置ももう少し検討してもらいたいと思います。1階と2階のロビー兼フリースペースは十分な広さがありますが、こういった用途なのか、1階の方は先ほどから説明があったとおり、カフェやイベント等で使われるのでしょうか、2階のロビー兼フリースペースの用途がまだまだ見えて来ないです。吹き抜け等の有効活用も含めてその設計を期待したいと思います。それと平面図、断面図がありますが、これだけではなく、やはり内観パーツ等も一緒に同時進行で計画段階でも作っていただくようお願いしたいです。やはり平面だけ見ても、間取りが分かるだけで、中の雰囲気がこういった空間を想定してるかというところもしっかり説明する材料としては必要なことだと思いますので、その辺もお願いしたいと思います。敷地内通路に関しては、容積率、建蔽率の問題もあると思いますが、ひさしなど、雨宿りや日よけができるような外への配慮もするというのも一つの案かなと思います。今のこの断面図だけ見ていると、ただ単に一般的に箱物というふうに言われても仕方ないので、外観内観も含めて、平面プランと同時進行でお願いします。私だけでなく、多くの方々に説明する材料として用意しておいてもらいたいと思います。もう1点が、スケジュールに関してです。当初玖波公民館で住民説明が何度かあった中で、あの時の住民の不安は、公民館

が今のところで建て替えることになったときに活動する場所がないというところだったと思います。私自身もその会に参加して多くの利用者がそう言っていたなという記憶があるのですが、現在の駐車場に立てるので、そちら側ができてから古い公民館を解体という話だったと記憶していますが、今回このスケジュールを見ると、もちろんやむを得ない理由があると承知していますが、結局は利用者の意向に沿っていません。利用者の数も多い中で、10ヶ月も空白の時間ができるというのは、今後地域交流施設ができて、その後の活動に少なからずの弊害があるのではないかと予測されます。この休館期間がもっと短くなるような方向性を打ち出していただかないと、今日、公民館で説明会があると思うのですが、おそらくここは強く言われるのではないかと思いますので、この辺は再考してもらいたいと思います。実際、先週の日曜日も「子ども天国 in KUBA」ということで、玖波公民館の活動に参加していましたが、あの建物で最後だからということで、延べ人数は1,500人とおっしゃっていました。やはり多くの方々が利用されるという地域性と場所とその企画力ももちろんあると思いますが、一つのイベントだけでもそういった利用者がいるという中で、この10ヶ月という期間は、なかなか受け入れられないのではないかと懸念されます。その辺の再考、打ち合わせ等はしっかり進めてもらいたいと思います。土地がない、道が狭い、いろいろな要件等はあると思いますが、その中でも地域交流施設と銘打ってやる以上は、その地域の方々の活動が、建物が出来てからこれだけ良くなりますよではなく、出来るまでもしっかりとそういったところに沿ってますという方向性をもっともっと明確に打ち出してもらった方が良いです。今の設計業者が書いた図面とスケジュールと紙切れ2枚では、なかなか説明がつかないと思います。全てを同時進行で進める時間がないとは思いますが、今年度中にできることは、まだまだたくさんあると思います。住民の意見・要望を聞いてから場所を検討するのではなく、先に場所を用意して住民の方々に最終的にアナウンスしていくという方が理解のスピードも上がるのではないかと思いますので、まだまだ計画段階とは思いますが、その辺の検討をよろしくお願いします。

事務局　まず、これはあくまでも平面図の完成版ではなく、たたき台になります。スケジュールを見ていただきますと一番上の基本設計・実施設計というのが、令和6年6月からスタートになっていまして、実際6月に業者と打ち合わせをして、ようやく6月の終わりぐらいにこの平面図のたたき台ができた段階なので、まだこの平面図もこれから固めないといけません。それから断面図的なものや、建てる前の実施設計、これで大体建築の準備ができるという話になりますので、そこまでいかないとイメージとして実感できないです。柱がどういう形状でどこにあるのかということも実際にはまだ難しいと思います。あくまでも今、たたき台の平面図としてこういう意見・要望があった諸室、フリースペース、コミュニティサロンのロビーで活動されているという現状がありますので、そこを統合するというので1階も2階の方にも広いロビー兼フリースペースが要るので、そのスペースを絵に落とし込んだということでご理解いただけたらと思

います。これからだと思っています。スケジュールの解体工事については、現地建て替えではないので、実際にはもっと休館期間が短くならないかといろいろと協議をしているところです。他の施設で言うと、アゼリアおたけもおがたピアも現地建て替えで増床というのもありましたが、やはり1年半ぐらいは休館していました。今回玖波については1年半という話ではなく1年を切る形で、長いと言えは長いかもしれませんが、我々としては厳しいと思っています。実際の建築の中で言えば、先ほどの実施設計でどのような工法をとって、どういう工事をするかによって工期も若干は変わるとは聞いています。また開館準備にしても、どれだけのものをそこに入れるか、どういう配置をしていくかという事や、物が調達できるか、オープンできるかという話になるので、計画上、大体の標準モデルで、休館というのが10ヶ月程度ではないかと聞いています。短縮できればそれに越したことはないのですが、後はいかに現場の方でうまく作業が進むかということぐらしかありませんが、まだ日数がありますので、いろいろ詰めながら、利用団体の方々にもしっかりと説明をさせていただきながら、少し我慢していただくことは出てくるとは思いますが、その辺は理解をしていただくように努めたいと思っています。

小 城 委 員 員 確かにまだまだ基本設計なので、地域の方々としつかりコミュニケーションを取って作り上げていく初めての建物ですので、それが生かされた形になっているのは喜ばしいことだと思います。この基本設計をもとに、地域の方々が大竹市内・市外に誇れるような建物が立つことを期待しています。先ほどの説明の休館期間の件は、本当に多くの団体の方に説明していただかないといけないと思います。やはり今までの活動が担保できる場所を用意することを先にお伝えしないと、これだけ使えませんということを見ると、多分びっくりするのではないかと思います。同じ場所での建て替えは先ほど言われた通り、1年半から2年ぐらいは使えないというのは分かりますが、違う場所ということなので、利用者の特に高齢の方々も多いので、その辺の理解を促すために真摯に説明していただきたいので、その準備の方もしていただけたらと思います。

小西教育長 　　まだまだこれからです。より市民の皆さんがイメージしやすいような詳細は出てくると考えています。また当然、その間、現在使用している方の代替についても、協議しながら考えてまいりたいと思っています。

市 川 委 員 員 　　今まとめられたので良いと思います。また、たたき台の平面図ということなので、これからすごく変わってくるのではないかと思います。2階にホールがあるということなので、放送設備やいろいろなものを持って上がる時にエレベーターが小さいのかなと思います。もう少し大きめのエレベーターじゃないといろいろと支障が出てくるとは思います。

事 務 局 　　エレベーターについてですが、ホールが2階にあるので、こういった機材を持って上がったり降りたりすることがあるかという話になるかと思います。現時点でいろいろなイベントをする中で、そんなに大きな機材は現場ではないと聞いています。ただ玖波公民館のロビーにピアノがありますので、そういったものを乗せるとなると話は別ですが、今のところピアノを乗せることはしない

と聞いています。県警音楽隊の方がホールのステージ上で演奏される楽器などを想定しても、おそらくエレベーターには十分に入るかと思っています。音響設備で動かしたりするようなものも今のところはないと考えています。

池田委員 先ほどの休館期間のことなのですが、開館準備のときには、いろいろなものを移動させないといけないので、この期間はどうしても休館にしないといけないと思いますが、3ヶ月の移動期間のあとで解体というのであれば、費用の面もあろうとは思いますが、住民の方も、ご理解いただけるのではないかと、後にまわせないのかと思いました。

事務局 同じような意見を議会でも実はいただいています。この地域交流施設の整備事業の事業費に対する財源としまして、国の補助金と起債を充てていますが、この起債を、使える条件として、令和8年度中までに事業を完了する必要があり、解体までを令和8年度中に終わらせる必要があることも、このようなスケジュールになっている要因の一つとしてご理解いただければと思います。

小西教育長 他に質疑はありませんか。

委員一同 なし。

小西教育長 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

なお、本日の会議の議事録を作成するに当たり、各議題の審議内容について、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を会議の議長に委任されたいと思います。異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

小西教育長 異議なしと認めます。よって、字句、数字、その他の整理は、議長である教育長で行います。

これにて、令和6年第7回大竹市教育委員会会議を閉会します。

【閉会時刻 10時20分】

.....